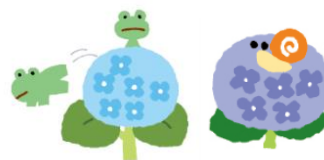


むくのきだより



6月号 令和2年6月1日 港区立赤羽幼稚園 園長 宮崎 直人

赤羽幼稚園がスタートしました！

園長 宮崎 直人

清々しい初夏を迎え、木々の緑も日増しに濃くなり、雨に濡れた紫陽花がひととき鮮やかに咲く季節となりました。長い臨時休業期間を終えて、今日から学校が再開し、子供たちの元気な声が戻ってきました。子供たちは、友達や先生と会えて、とても嬉しそうな様子でした。

赤羽幼稚園は、4月7日に始業式、8日に入園式を行う予定でしたが、4月7日に政府の緊急事態宣言が行われたことや4月16日に全都道府県が緊急事態措置の対象となったこと等により、5月末まで臨時休業となりました。

現在、新型コロナウイルス感染症については、新規感染者が減少しているものの、不明な点が多く、国内外の感染状況を見据えると、私たちは、長期間、この新たな感染症とともに社会で生きていかなければなりません。

そのため、赤羽幼稚園においても、感染症対策の3つのポイントである、「感染源を絶つこと」「感染経路を絶つこと」「抵抗力を高めること」を踏まえ、「3つの密」を徹底的に避ける、「マスクの着用」及び「手洗いなどの手指衛生」など基本的な感染対策を継続するなど、「新しい生活様式」を導入し、感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減しつつ、教育活動を継続し、子供の健やかな学びを保障できるよう全力を尽くします。ご家庭におきましても、「新しい生活様式」の実践をよろしくお願いいたします。

(参考:厚生労働省ホームページ https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html)

さて、赤羽幼稚園は、今年度、50周年を迎えました。(開園記念日は5月19日です。)5月に開園記念集会はできませんでしたが、今後、幼稚園のお誕生日の話を子供たちにしていきたいと考えています。

赤羽幼稚園は、昭和45年に開園しました。開園当時からずっと年長は、「ゆり組」、年少は、「さくら組」です。当時は、ゆり組もさくら組も40名で、80名が赤羽幼稚園に通っていました。

10周年記念誌を読んでもと、幼稚園の思い出として、「遠足のときに、バスに乗ってお弁当を食べた。」「親子遠足でお芋掘りに行って、土の中から大きな芋が出てきた。」「お誕生会が好き。」「ピロティで鬼ごっこをして遊んだことが楽しかった。」等、今の子供たちと同じように楽しく遊んでいたことが分かります。

また、当時の幼児の姿を「保育室、遊戯室、ピロティ、園庭を自由に駆け回り、自分の欲求に合った遊びを汗びっしょりになりながら堪能しています。」と書かれています。今も昔も変わらずに、元気一杯、仲よく楽しく遊んでいたのですね。このように、当時の園児や先生方の思いを読むと、歴史の重さを感じます。この大きな節目の年に、赤羽幼稚園の保育がますます充実するよう、教職員一同頑張っていきたいと思います。

ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

